資料3－1

今後の第二次試験の在り方について
（イメージ案・更新版）

合格　登録　CPD　グローバルエンジニア

受験申込み時

（主な提出書類）

①受験申込書

②業務経歴票・・・所定の実務経験年数の証明

③業務説明書（仮称）・・・自らの業務の技術的な内容、立場・役割、成果等が、技術士コンピテンシーに掲げる「問題解決」、「マネジメント」、「評価」、「リーダーシップ」等に関する素養や姿勢を備えていることを記載

筆記試験（★2）

（確認（判定）すべき概念・内容）

①専門の技術分野の業務に必要な汎用的な専門知識（★1）

②これまでの知識や経験に基づき、与えられた条件下の問題を認識、必要な分析、業務遂行手順等について説明できる能力（応用能力）

③社会や技術における様々な状況から、複合的な問題を把握、多様な視点からの調査・分析、解決策の導出にかかる論理的・合理的な説明能力（問題解決能力、課題遂行能力）

口頭試験（業務説明書と筆記試験の一部回答を参考に）

（確認（判定）すべき概念・内容）

①公衆の福利等を最大限考慮、社会等に対する影響を予見、社会の持続性の確保に努めて倫理的に行動できる能力

②多様な利害を調整できる能力

③他の技術分野の関係者との間で明確かつ効果的に意思疎通できる能力

④（筆記試験③と同様）問題解決能力・課題遂行能力

⑤これまでの自己研さん（IPD等）に対する取組姿勢、今後の継続研さん（CPD）に対する基本的理解

【更に議論を深めるべきポイント】

（★1）・「専門知識」の確認が必要か。

・「断片的」ではなく、「汎用的な」知識の確認が必要か。

・第一次試験との差異をどのように図るべきか。

（★2）筆記試験で確認すべきレベル

→　複合的な問題把握、調査・分析、解決策の導出までの過程において、多様な視点から、論理的かつ合理的に考察できること